

第33期 年次報告書

平成20年7月1日から平成21年6月30日まで

Medical



Medical Device



Industrial Device

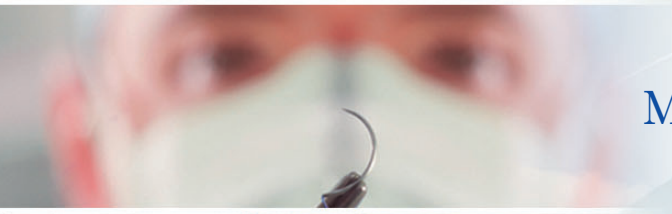


Dream

Your dreams. Woven together.
ASAHI INTECC



Industrial Device



Medical Device



Medical



目次

ごあいさつ	2
連結財務ハイライト	3
トピックス	5
セグメント別営業の概況	7
財務諸表（連結）	9
●連結貸借対照表 ●連結損益計算書	
●連結株主資本等変動計算書	
●連結キャッシュ・フロー計算書	
財務諸表（単体）・株式の状況	11
●貸借対照表 ●損益計算書	
●株主資本等変動計算書 ●株式の状況	
会社の概要・株主メモ	13

株主の皆様へ



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループ当連結会計年度（平成20年7月1日から平成21年6月30日まで）の営業の概況についてご報告申し上げますにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当社では、このたび宮田尚彦が代表取締役会長に就任し、後任として、私、宮田昌彦が代表取締役社長に就任することになりました。微力ながら、社業のさらなる発展のために専心努力いたす所存でございますので、何卒格別のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

当社グループが属する医療機器業界は、国内では国民医療費増加の抑制や内外価格差の是正等を目的として、厚生労働省により保険償還価格の引下げや、診療報酬包括化等の医療制度改革が進められております。また、海外では同業者間の価格競争が激化・拡大しており、海外市場価格は日本より低いのが現状であります。このように、国内海外ともに医療機器業界は、厳しい環境下に置かれており、合理化と企業戦略の見直しが求められているといえます。また、サブプライムローン問題に端を発した米国経済の低迷により、世界各地の景況感にも大きな影響が生じており、医療機器業界のみならず産業機器業界におきましても、厳しい経営環境にあるといえます。

このような環境の中、当社グループの当連結会計年度における売上高は、景気悪化に伴う産業機器分野の不調や、医療機器分野の主要取引先であるアボット ラボラトリーズ社への売上高が一時的に不安定であったこと、さらにはドル安など為替動向の変化に伴う売上高減少など、複合的なマイナス影響を受けたものの、医療機器分野で自社ブランド製品やOEM供給品が、国内海外ともに好調な売上であったことなどから、127億18百万円（前年同期比8.7%増）となりました。

売上総利益は、主力製品PTCAガイドワイヤーの生産稼働が、アボット ラボラトリーズ社との協議の影響を受け一時的に不安定な状態であったことや、第二の海外生産拠点である連結子会社ASAHI INTECC HANOI CO.,LTD.の立

上げに伴う諸経費の増加などがあったものの、タイバーツ安など為替動向の変化に伴う製造経費の減少、主要原材料であるステンレスやプラチナなどの価格下落に伴う原材料費の減少、さらにはアボット ラボラトリーズ社からの協議合意後の大量受注に対して第一の海外生産拠点である連結子会社ASAHI INTECC THAILAND CO.,LTD.を中心に順調な生産稼働が行われたことなどから売上総利益率が上昇し、68億88百万円（同17.4%増）となりました。営業利益は、タイバーツ安など為替動向の変化に伴う費用減少の一方、順調なグローバル展開に派生した営業を中心とする人件費の増加や、研究開発人員の増加に伴う研究開発費用の増加などにより、販売費及び一般管理費が増加いたしました。17億82百万円（同68.6%増）となりました。

経常利益は、営業外費用に円高影響による為替差損3億57百万円を計上したことなどにより、14億38百万円（同53.4%増）となりました。また、当期純利益は、投資有価証券評価損4億60百万円などを計上した結果、4億45百万円（同5.8%減）となりました。

当社グループは、研究開発型企業として医療及び産業機器分野において、安全と信頼を基盤とする「Only One」技術や「Number One」製品を世界に発信し続けることにより、全てのお客様の「夢」を実現するとともに、広く社会に貢献していくことを企業理念としております。

当社グループの医療機器分野事業は、主に傷口が小さく痛みが少ない「低侵襲治療」の製品を開発・製造・販売しており、患者様の肉体的・精神的・経済的負担を軽減し、そして医療費抑制にも貢献できる大変意義のある事業であると考えております。

今後も社会に貢献できる企業であり続けることで、社会からも市場からも評価される企業として、さらなる成長を遂げたいと考えております。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年9月

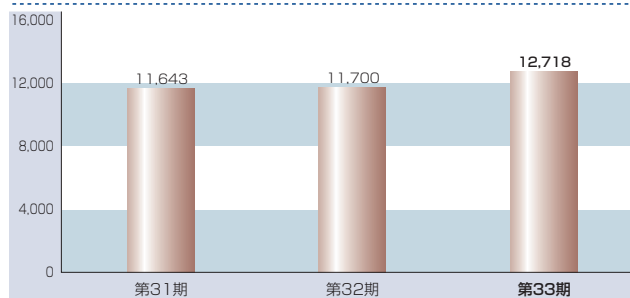
代表取締役社長

宮田 昌彦

連結財務ハイライト

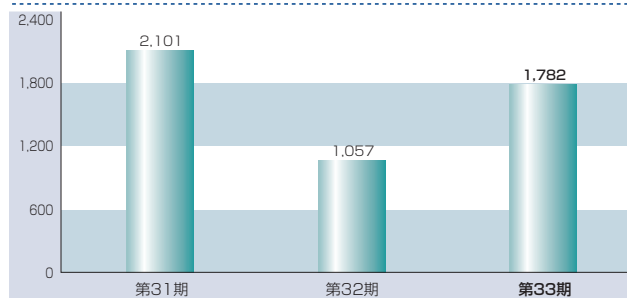
売上高

(百万円)



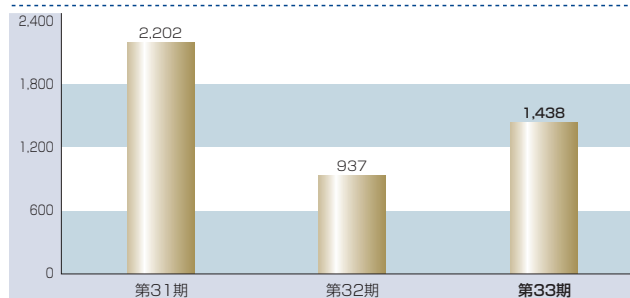
営業利益

(百万円)



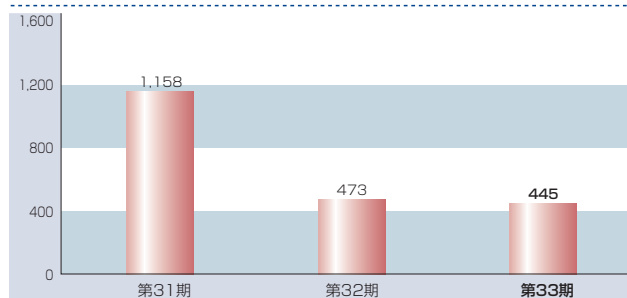
経常利益

(百万円)

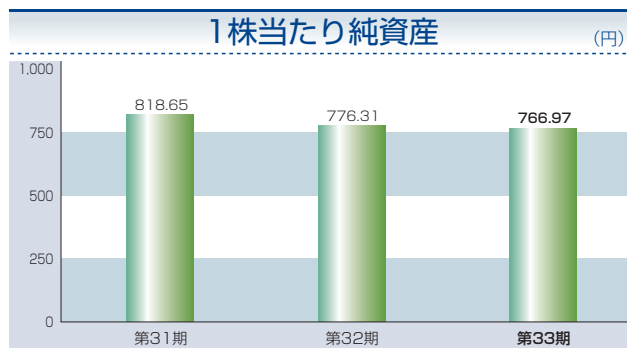
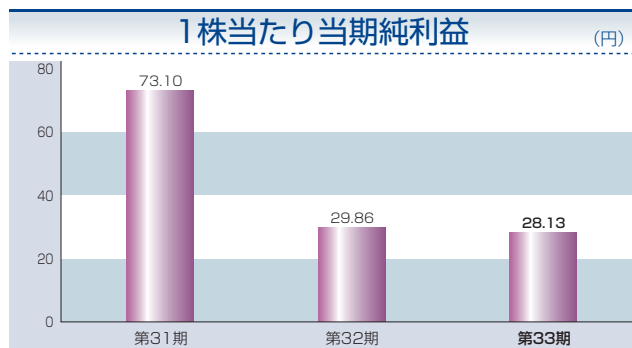
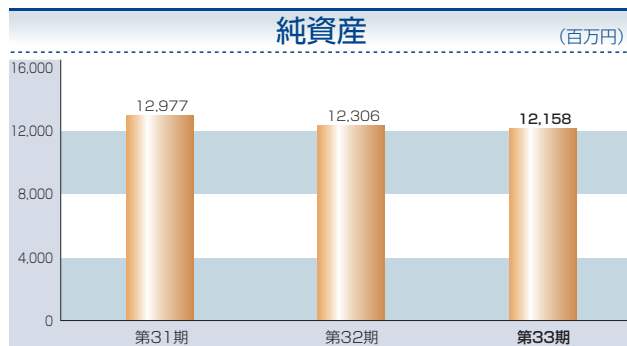
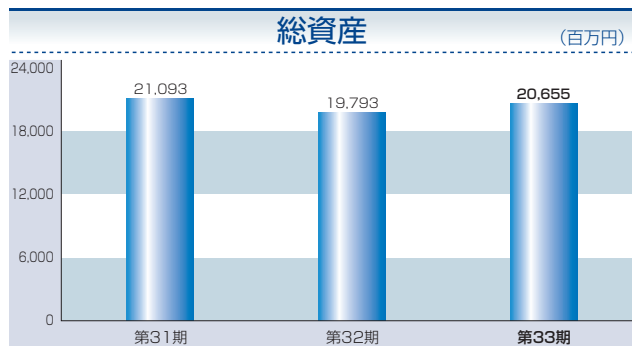


当期純利益

(百万円)



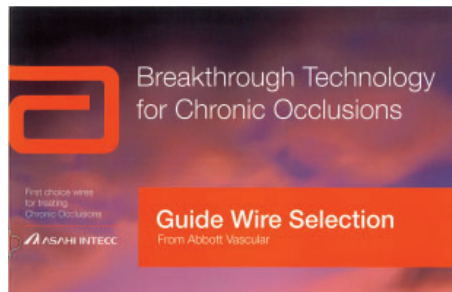
区分	第31期 (平成19年6月期)	第32期 (平成20年6月期)	第33期 (平成21年6月期)
売上高 (百万円)	11,643	11,700	12,718
営業利益 (百万円)	2,101	1,057	1,782
経常利益 (百万円)	2,202	937	1,438
当期純利益 (百万円)	1,158	473	445



区 分	第31期 (平成19年6月期)	第32期 (平成20年6月期)	第33期 (平成21年6月期)
総 資 産 (百万円)	21,093	19,793	20,655
純 資 産 (百万円)	12,977	12,306	12,158
自 己 資 本 比 率 (%)	61.5	62.2	58.9
1株当たり当期純利益 (円)	73.10	29.86	28.13
1株当たり純資産 (円)	818.65	776.31	766.97
1株当たり配当金 (円)	17.50	17.50	8.00

Topics 1 アボット ラボラトリーズ社との契約問題について

当社グループは、海外の主要市場である欧米市場におきましては、米国大手のアボット ラボラトリーズ社と主力製品PTCAガイドワイヤーの独占販売契約を2011年12月まで締結しております。その契約内容では、2010年12月末までは年次（1月～12月）で取引が増加する内容にて最低取引本数を定めておりましたが、一時的に2007年の米国を中心としたPTCA市場が縮小したことを契機に、アボット ラボラトリーズ社から2008年（1月～12月）の最低取引本数見直しの要請を受け、協議を開始しておりました。しかしその後、数回に渉る協議の結果、2008年の最低取引本数は当初の契約通りとなり、2008年10月末にこれまでの2008年の最低取引本数に満たない部分全ての受注を受けることが確定いたしました。なお、取引本数の販売（出荷）期間については、協議期間において取引が一時的に減少していたことを考慮し、今後の販売（出荷）時期の延期変更をいたしておりますが、当初定められた最低取引本数に変更は無く、今後も2011年6月末まで再合意しております現在の販売（出荷）スケジュールに基づき、取引は順調に推移する予定です。今回の協議結果は、当社グループの製品が、競合他社に比べ高い技術優位性があることを表しており、今後もアボット ラボラトリーズ社との現契約に基づき、欧米市場での当社グループ製品の拡販を目指して参ります。



当社ガイドワイヤーを掲載しているアボット社カタログ

Topics 2 新製品のご紹介！

脳血管系分野への進出

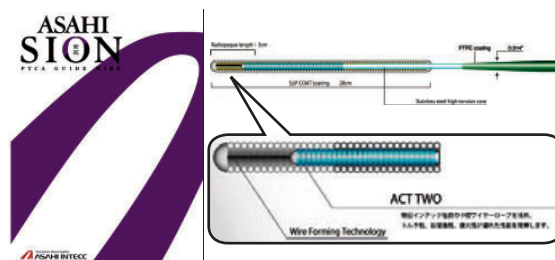
当社グループは、循環器系以外の患部領域の製品群を強化することを戦略の一つとして掲げております。その一環として、これまで脳血管系治療用製品の開発を行って参りましたが、この度、従来製品で有した高い技術力を駆使し、当社グループとしては初めて脳血管内カテーテル治療製品群の製品化に成功いたしました。



SheathLess NVのカタログ

PTCAガイドワイヤー新製品「ASAHI SION」誕生！

PTCAガイドワイヤーのラインナップに新たに「ASAHI SION」が誕生いたしました。「ASAHI SION」は、操作性が高く複雑な血管選択に優れ、血管にかけるストレスを抑え、かつ壊れにくい特性を有していることから、幅広い適応範囲でお使いいただけ、更には複数の血管の治療にも対応できる製品となっております。



Topics 3 ローコストオペレーションの推進（海外子会社工場の強化）について

現在、量産については主力生産拠点である連結子会社ASAHI INTECC THAILAND CO.,LTD.（以下タイ工場）を中心に製造を行っており、また第二の生産拠点であるASAHI INTECC HANOI CO.,LTD.（以下ハノイ工場）におきましても、2007年1月稼働開始後、順調に操業を続けております。

ハノイ工場はこれまでタイ工場の下請けを担っておりましたが、今後は完成品まで製造可能な体制に移行しつつあります。また、2010年7月以降の大手医療機器メーカー向けの新規大口OEM受注を受け持つため、さらなる能力増強を進める予定であり、収益拡大が見込まれます。

タイ工場におきましても、今後の海外展開の需要増加を見込み、製造設備の増強を進めております。2009年5月には、既存のタイ工場隣地を取得しており、生産能力の拡充を進める予定です。

また、流通や在庫コストの増大リスクを低減するため、世界各国へのデリバリーは直接海外工場から行う方針であり、既にタイ工場からは最大顧客であるアボット ラボラトリーズ社向け製品を、米国・欧州へ直製出荷する体制を実現させました。各国の法規制対応準備が整い次第、順次これら体制に切り替えていく計画であり、よりコスト削減に大きく貢献できることを目論んでおります。



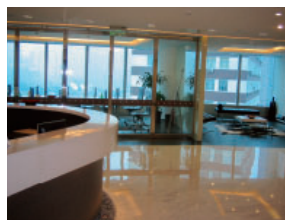
「ASAHI INTECC THAILAND CO.,LTD.」メディカル工場



「ASAHI INTECC HANOI CO.,LTD.」

Topics 4 北京駐在所の開設について

当社グループは、循環器系を中心とした医療機器製品について特に海外市場への販売展開を加速化していく所存であります。海外のメイン市場である欧米地域はもとより、今後の発展市場であるBRICs等の新興国への展開を強化して参りますが、その中でもとりわけ中国におけるPTCA市場は急速な拡大を続けており、よって当社もさらなる販売強化を目的として、2009年7月に中国・北京に駐在所を開設いたしました。この北京駐在所を基点としてさらなる売上拡大に努める所存です。



北京駐在所



北京駐在所のあるTWINTOWERS

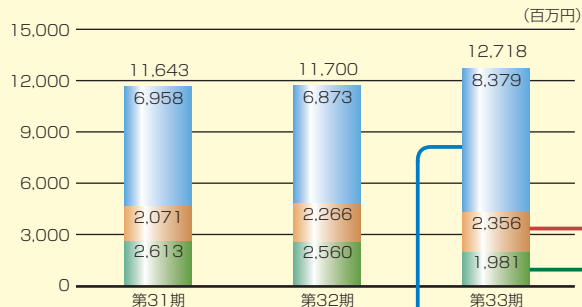
ホームページにて、最新の情報をご覧いただけます。▶<http://www.asahi-intecc.co.jp/>

セグメント別営業の概況

当社グループは、製品内容に応じ、
 メディカル事業、
 メディカルデバイス事業、
 インダストリアルデバイス事業の
 3事業にて構成されております。

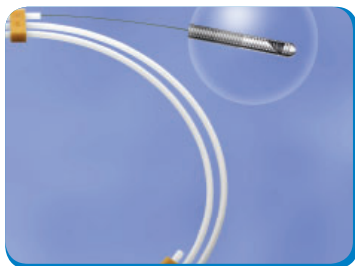
●セグメント別売上高

- メディカル事業
- メディカルデバイス事業
- インダストリアルデバイス事業



メディカル事業

Medical

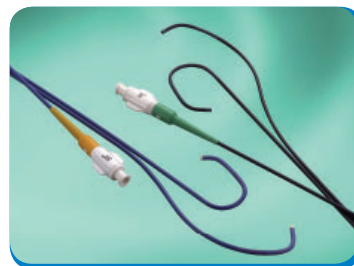


PTCAガイドワイヤー

メディカル事業の売上の大部分を占める治療用カテーテルシステムの売上高は、国内海外ともに順調に推移いたしました。

国内売上高につきましては、循環器系の主力製品であるPTCAガイドワイヤーが引続き好調に推移したほか、同じく循環器系の製品であるPTCAバルーンカテーテルが新製品投入により売上高が増加、さらには循環器系以外の製品であるペリフェラルガイドワイヤーなども好調に推移するなど、総じて順調に推移いたしました。

海外売上高につきましては、ドル安など為替動向の変化に伴う売上高減少の影響を受けたものの、欧米市場においてPTCAガイドワイヤーの販売が好調であったことにより増加いたしました。欧米市場におきましては、平成20年初頭より、大口取引先であるアボッ



PTCAガイディングカテーテル

ト ラボラトリーズ社と平成20年の取引本数について協議しておりましたが、平成20年10月末に再合意し、契約書上で定められた最低取引本数を満たす取引本数の受注があったことから、平成20年11月以降は順調に取引を行っております。

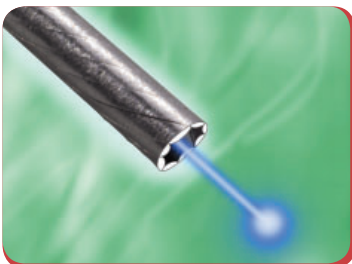
また、検査用カテーテルシステムにつきましては、国内海外ともに価格競争となっており、売上高は減少いたしました。

以上の結果、売上高は83億79百万円（前年同期比21.9%増）、営業利益は24億84百万円（同59.4%増）となりました。

～循環器系を中心に順調に推移～

メディカルデバイス事業

Medical Device



ACTONE® (アクトワン)

メディカルデバイス事業では、循環器以外の新領域分野へ進出するなど業績は好調に推移しております。OEM供給品につきましては、国内海外ともに順調に推移しており、米国向けの末梢血管及び中心静脈用の低侵襲治療（注）製品、国内向けの脳動脈瘤塞栓栓に使用される低侵襲治療製品などを中心に、前年同期に対して売上高は増加しております。この背景には、国内外の大手医療機器メーカーが販売に注力するため、当社グループのような技術力、生産力に強みを持つ企業へのアウトソーシングに委ねる傾向にあることがあります。また、医療用部材については、米国市場向けの耳鼻咽喉科用医療機器部材の受注などが増加したものの、米国における景気悪化の影響により、米国医療機器メーカーが在庫調整や

積極的な開発投資を控えたことから、特に米国向け医療部材の受注が減少しており、前年同期に対して売上高は減少いたしました。

以上の結果、売上高は23億56百万円（前年同期比4.0%増）、営業利益は5億16百万円（同48.3%増）となりました。

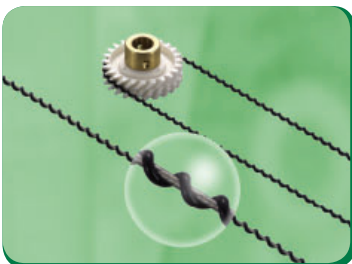
〔注釈説明〕

注：低侵襲治療／患者の精神的・身体的ダメージを最小限に抑えるために、開胸・開腹手術をすること無く、太腿や手首から血管を通して行う傷口や痛みが少ない治療のことをいいます。通常の外科手術と比較し、患者へのダメージが軽減されるほか、入院期間が短縮される等の利点があり、また付随して患者の経済的負担の軽減や、政府の医療費抑制策にも貢献する治療法といわれています。

～新領域分野への進出～

インダストリアルデバイス事業

Industrial Device



シンクロメッシュロープ

インダストリアルデバイス事業では、OA機器複合化などに伴う市場価格の下落や、国内外の競合メーカーとの価格競争激化に加え、各市場における景況感の悪化により、ますます厳しい事業環境となっております。よって、当事業におきましては、引続き高付加価値製品へのシフト、販売価格の見直しに取り組んでおります。

このような厳しい市場環境の中、ワイヤー素材については、ダイワ精工株式会社向け新規製品「グレメタル」の販売や遊戯機関連製品の販売などレジャー関連製品が好調であったものの、その他の自動車・建築・機械関係などほぼ全業種において、市況悪化の影響から受注が大きく減少し売上高は減少いたしました。

一方、端末加工品については、大手家電メーカーのエアコン用に使用されている当社グループ独自の高機能部品の取引が、先方の中国向け売上が好調であることを受け受注が増加いたしました。一方、端末加工品の大部分を占めるOA機器市場は景気悪化の影響を大きく受けており、OA機器関連製品は、ほぼ全ての取引先からの受注が減少し、前年同期に対して売上高は減少いたしました。

以上の結果、売上高は19億81百万円（前年同期比22.6%減）、営業利益は1億78百万円（同40.0%減）となりました。

～高付加価値製品へのシフト～

財務諸表（連結）

連結貸借対照表

（単位：千円）

科 目	第32期 (平成20年6月30日現在)	第33期 (平成21年6月30日現在)
【資産の部】		
流動資産	9,803,727	11,117,585
現金及び預金	2,822,229	4,242,510
受取手形及び売掛金	2,487,820	2,917,230
たな卸資産	3,520,939	—
商品及び製品	—	1,111,399
仕掛品	—	1,067,780
原材料及び貯蔵品	—	1,049,963
繰延税金資産	118,558	207,303
その他	858,351	580,330
貸倒引当金	△4,172	△58,934
固定資産	9,989,599	9,537,875
有形固定資産	7,141,380	7,171,879
建物及び構築物	4,877,736	4,913,041
減価償却累計額	△1,280,204	△1,485,987
建物及び構築物（純額）	3,597,531	3,427,054
機械装置及び運搬具	3,629,119	3,249,187
減価償却累計額	△2,047,766	△1,978,601
機械装置及び運搬具（純額）	1,581,353	1,270,585
土地	1,323,429	1,884,196
建設仮勘定	251,971	203,087
その他	1,112,076	1,617,508
減価償却累計額	△724,981	△1,230,552
その他（純額）	387,095	386,955
無形固定資産	149,095	178,870
投資その他の資産	2,699,123	2,187,124
投資有価証券	1,455,267	1,133,214
繰延税金資産	1,063	2,052
保険積立金	780,591	655,275
その他	480,100	414,332
貸倒引当金	△17,900	△17,750
資産合計	19,793,327	20,655,460

（単位：千円）

科 目	第32期 (平成20年6月30日現在)	第33期 (平成21年6月30日現在)
【負債の部】		
流動負債	3,567,041	4,624,197
支払手形及び買掛金	349,133	282,323
短期借入金	2,005,586	2,735,176
未払金	597,687	661,393
未払法人税等	117,546	352,524
賞与引当金	76,789	157,375
その他	420,298	435,404
固定負債	3,919,874	3,872,859
長期借入金	3,224,527	3,149,798
退職給付引当金	247,951	266,777
役員退職慰労引当金	378,966	363,194
繰延税金負債	36,261	59,841
その他	32,168	33,247
負債合計	7,486,916	8,497,056
【純資産の部】		
株主資本	12,425,818	12,685,064
資本金	4,167,950	4,167,950
資本剰余金	4,060,960	4,060,960
利益剰余金	4,197,064	4,456,372
自己株式	△156	△217
評価・換算差額等	△119,407	△526,661
その他有価証券評価差額金	△84,069	△46,468
為替換算調整勘定	△35,338	△480,192
純資産合計	12,306,410	12,158,403
負債純資産合計	19,793,327	20,655,460

連結損益計算書

(単位:千円)

科 目	第32期	第33期
	(平成19年7月1日から 平成20年6月30日まで)	(平成20年7月1日から 平成21年6月30日まで)
売上高	11,700,655	12,718,199
売上原価	5,834,637	5,829,757
売上総利益	5,866,017	6,888,442
販売費及び一般管理費	4,808,908	5,106,312
営業利益	1,057,109	1,782,129
営業外収益	98,663	112,069
営業外費用	218,233	456,014
経常利益	937,539	1,438,184
特別利益	87,642	2,115
特別損失	179,757	542,355
税金等調整前当期純利益	845,423	897,944
法人税、住民税及び事業税	318,336	542,153
法人税等調整額	53,683	△90,071
当期純利益	473,403	445,862

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科 目	第32期	第33期
	(平成19年7月1日から 平成20年6月30日まで)	(平成20年7月1日から 平成21年6月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,116,522	2,336,739
投資活動によるキャッシュ・フロー	△887,186	△1,350,388
財務活動によるキャッシュ・フロー	△259,387	407,968
現金及び現金同等物に係る換算差額	△174,284	△163,167
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△204,336	1,231,152
現金及び現金同等物の期首残高	2,819,531	2,615,195
在外子会社の会計期間変更に伴う 現金及び現金同等物の増加額	—	99,062
現金及び現金同等物の期末残高	2,615,195	3,945,410

連結株主資本等変動計算書 (平成20年7月1日から平成21年6月30日まで)

(単位:千円)

	株 主 資 本					評 価 ・ 換 算 差 額 等			純 資 産 計
	資 本 金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合 計	その他有価証 券評価差額金	為 替 換 算 調 整 勘 定	評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	
平成20年6月30日残高	4,167,950	4,060,960	4,197,064	△156	12,425,818	△84,069	△35,338	△119,407	12,306,410
在外子会社の会計期間変更に伴う増加			88,573		88,573				88,573
在外子会社の会計処理の統一に伴う増加			2,290		2,290				2,290
連結会計年度中の変動額									
剰余金の配当			△277,419		△277,419				△277,419
当期純利益			445,862		445,862				445,862
自己株式の取得				△61	△61				△61
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)						37,600	△444,854	△407,253	△407,253
連結会計年度中の変動額合計	—	—	168,443	△61	168,381	37,600	△444,854	△407,253	△238,871
平成21年6月30日残高	4,167,950	4,060,960	4,456,372	△217	12,685,064	△46,468	△480,192	△526,661	12,158,403

財務諸表（単体）・株式の状況

貸借対照表

(単位：千円)

科目	第32期 (平成20年6月30日現在)	第33期 (平成21年6月30日現在)
【資産の部】		
流動資産	7,372,345	8,098,601
現金及び預金	1,590,654	2,292,709
受取手形	394,283	401,774
売掛金	1,988,589	2,441,875
製品	1,343,261	—
商品及び製品	—	1,147,249
仕掛品	242,625	217,473
原材料	488,338	—
貯蔵品	10,850	—
原材料及び貯蔵品	—	413,179
前渡金	99	—
関係会社短期貸付金	188,000	146,404
前払費用	66,050	73,879
繰延税金資産	32,608	123,699
未収入金	660,402	797,871
未収還付法人税等	200,566	—
その他	166,170	91,624
貸倒引当金	△157	△49,139
固定資産	11,012,418	10,807,977
有形固定資産	4,124,483	4,056,518
建物	2,859,647	3,041,573
減価償却累計額	△796,698	△929,664
建物（純額）	2,062,949	2,111,909
構築物	182,233	184,980
減価償却累計額	△92,790	△106,035
構築物（純額）	89,442	78,944
機械及び装置	1,054,369	1,126,457
減価償却累計額	△512,496	△639,971
機械及び装置（純額）	541,873	486,486
車両運搬具	4,003	4,003
減価償却累計額	△3,843	△3,883
車両運搬具（純額）	160	120
工具、器具及び備品	717,610	768,532
減価償却累計額	△488,099	△578,722
工具、器具及び備品（純額）	229,511	189,810
土地	1,175,335	1,183,448
建設仮勘定	25,212	5,799
無形固定資産	139,117	151,644
投資その他の資産	6,748,816	6,599,814
投資有価証券	1,455,267	1,133,214
関係会社株式	1,384,041	1,384,041
出資金	1,090	1,090
関係会社出資金	1,016,930	1,698,170
関係会社長期貸付金	1,576,000	1,277,676
長期前払費用	622	876
繰延税金資産	326,010	293,352
保険積立金	780,591	655,275
その他	226,238	173,930
貸倒引当金	△17,976	△17,811
資産合計	18,384,763	18,906,578

(単位：千円)

科目	第32期 (平成20年6月30日現在)	第33期 (平成21年6月30日現在)
【負債の部】		
流動負債	3,697,719	4,851,519
支払手形	138,117	41,818
買掛金	981,561	1,201,312
短期借入金	300,000	868,080
1年内返済予定の長期借入金	1,387,586	1,585,096
未払金	574,367	677,616
未払費用	91,768	106,204
未払法人税等	9,366	154,789
前受金	44	—
預り金	83,200	95,350
賞与引当金	72,501	84,970
その他	59,205	36,281
固定負債	3,877,474	3,786,202
長期借入金	3,224,527	3,149,798
退職給付引当金	242,700	259,996
役員退職慰労引当金	378,966	363,194
その他	31,280	13,213
負債合計	7,575,193	8,637,721
【純資産の部】		
株主資本	10,893,639	10,315,325
資本金	4,167,950	4,167,950
資本剰余金	4,060,960	4,060,960
資本準備金	4,060,960	4,060,960
利益剰余金	2,664,885	2,086,633
利益準備金	39,841	39,841
その他利益剰余金	2,625,044	2,046,791
別途積立金	75,000	75,000
繰越利益剰余金	2,550,044	1,971,791
自己株式	△156	△217
評価・換算差額等	△84,069	△46,468
その他有価証券評価差額金	△84,069	△46,468
純資産合計	10,809,569	10,268,856
負債純資産合計	18,384,763	18,906,578

損益計算書

(単位：千円)

科 目	第32期 (平成19年7月1日から 平成20年6月30日まで)	第33期 (平成20年7月1日から 平成21年6月30日まで)
	売上高	11,156,628
売上原価	6,804,338	7,219,228
売上総利益	4,352,290	4,633,790
販売費及び一般管理費	3,854,819	4,124,383
営業利益	497,470	509,407
営業外収益	107,085	142,848
営業外費用	311,437	263,511
経常利益	293,118	388,743
特別利益	82,451	166
特別損失	179,652	569,155
税引前当期純利益又は 税引前当期純損失(△)	195,917	△180,245
法人税、住民税及び事業税	73,303	204,562
法人税等調整額	15,682	△83,975
当期純利益又は当期純損失(△)	106,931	△300,832

株式の状況 (平成21年6月30日現在)

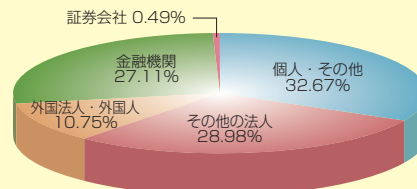
発行可能株式総数 50,000,000 株
 発行済株式の総数 15,852,600 株 (自己株式134株含む)
 株主数 2,834 名

●大株主

株 主 名	持株数(株)	議決権比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,833,400	11.56
宮田 昌彦	1,603,100	10.11
アイシーエスピー有限公司	1,500,000	9.46
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	972,300	6.13
宮田 憲次	748,700	4.72
セント・ジュード・メディカル株式会社	708,000	4.46
株式会社ハイレックスコーポレーション	600,000	3.78
株式会社ホギメディカル	547,500	3.45
朝日インテック社員持株会	363,320	2.29
JFK株式会社	320,000	2.01

(注) 議決権比率は自己株式(134株)を控除して計算しております。

●所有者別株式分布状況(株式数15,852,600株、株主数2,834名)



株主資本等変動計算書 (平成20年7月1日から平成21年6月30日まで)

(単位：千円)

	株 主 資 本						自己株式	株主資本 合 計	評価・換算差額等 その他有 価証券評 価差額金	純 資 産 計
	資 本 金	資本剰余金 資 本 準 備 金	利 益 剰 余 金			利益剰余金 合 計				
			利 益 準 備 金	別 途 積 立 金	繰 越 利 益 剰 余 金					
平成20年6月30日残高	4,167,950	4,060,960	39,841	75,000	2,550,044	2,664,885	△156	10,893,639	△84,069	10,809,569
事業年度中の変動額										
剰余金の配当					△277,419	△277,419		△277,419		△277,419
当期純損失(△)					△300,832	△300,832		△300,832		△300,832
自己株式の取得							△61	△61		△61
株主資本以外の項目の事 業年度中の変動額(純額)									37,600	37,600
事業年度中の変動額合計	-	-	-	-	△578,252	△578,252	△61	△578,313	37,600	△540,712
平成21年6月30日残高	4,167,950	4,060,960	39,841	75,000	1,971,791	2,086,633	△217	10,315,325	△46,468	10,268,856

会社の概要・株主メモ

▶ 会社の概要

商号	朝日インテック株式会社 ASAHI INTECC CO.,LTD.
設立	昭和51年7月8日
資本金	41億6,795万円
従業員数	●単体 345名 (平成21年6月30日現在) ●連結 2,469名 (平成21年6月30日現在)
本社	〒463-0024 名古屋市守山区脇田町1703番地 TEL 052-768-1211 (代)

事業内容	①循環器系疾患の治療及び診断分野においての低侵襲治療製品（治療用カテーテルシステム、検査用カテーテルシステム）の開発・製造・販売 ②消化器分野、循環器分野、透析分野、放射線分野における低侵襲治療製品及び医療部材の開発・製造・販売及びOEM供給 ③産業機器用極細ステンレスワイヤーロープの開発・製造・販売
------	---

役員

代表取締役会長	宮田 尚彦
代表取締役社長	宮田 昌彦
専務取締役	竹内 謙次
常務取締役	福井 芳彦
取締役	湯川 一平
取締役	宮田 憲次
取締役	加藤 忠和
常勤監査役	渡辺 行祥
監査役	佐藤 昌巳
監査役	大林 敏治

(注) 監査役佐藤昌巳、大林敏治は、社外監査役であります。

事務所

●国内事業所

東京営業所
名古屋営業所
大阪営業所
メディカル事業部
大阪R&Dセンター
大阪物流センター

東京都品川区
名古屋市守山区
大阪府和泉市
愛知県瀬戸市
大阪府和泉市
大阪府高石市

●海外事業所

香港支店
EU支店
シンガポール支店
北京駐在所
東莞石龍朝日精密鋼線廠

中国 香港
オランダ アムステルダム
シンガポール ビシヤン地区
北京市朝陽区
中国 広東省東莞市

●関連会社

ASAHI INTECC THAILAND CO.,LTD.
ASAHI INTECC HANOI CO.,LTD.
ASAHI INTECC USA,INC.
フィルムメック株式会社
コンパスマッドインテグレーション株式会社

タイランド パトゥムタニ県
ベトナム ハノイ市
米国 カリフォルニア州
名古屋市守山区
東京都新宿区



本社（名古屋市守山区）



ASAHI INTECC HANOI CO.,LTD.



ASAHI INTECC THAILAND CO.,LTD.



メディカル工場（左）デバイス工場（右）

▶ 株主メモ

証券コード	7747
事業年度	毎年7月1日から翌年6月30日まで
決算期	6月30日
定時株主総会	毎年9月
株主確定基準日	定時株主総会・期末配当金 6月30日 中間配当金 12月31日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
公告方法	当社ホームページ (http://www.asahi-intecc.co.jp/) に掲載します。 ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所市場第二部 名古屋証券取引所市場第二部 ジャスダック証券取引所

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

IR情報は、ホームページ上でもご覧になれます。

ニュースリリース、財務情報、株主情報など、ホームページ上で最新の情報をご提供しております。

▶ <http://www.asahi-intecc.co.jp/>

▶ 株式に関する手続きについて

株券の電子化に伴い、証券口座等に記録された株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等を経由して行います。また、支払期間経過後の配当金のお支払い及び特別口座に記録された株主様の各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行本支店にてお取次ぎいたします。

○証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
○上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。	

○特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
○特別口座から一般口座への振替請求 ○単元未満株式の買取請求 ○住所・氏名等のご変更 ○特別口座の残高照会 ○配当金の受領方法の指定（*）	特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿管理人	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[手続き書類のご請求方法]</p> <p>○音声自動応答電話によるご請求 0120-244-479 (通話料無料)</p> <p>○インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufig.jp/daikou/</p> </div>

（*）特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

株主様向け
アンケート

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、下記の方法にてアンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、
アクセスコード入力後に表示される
アンケートサイトにてご回答ください。
所要時間は5分程度です。



<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 7747

携帯電話からもアクセスできます



QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

- アンケート実施期間は、本年次報告書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

その他ご意見がございましたら、誠に手数
数ですが当社ホームページ「お問い合わせ」
にご記入ください。
<http://www.asahi-intecc.co.jp/>



※本アンケートは、株式会社エーツーメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツーメディアについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

- アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」
TEL: 03-5777-3900 (平日10:00~17:30) MAIL: info@e-kabunushi.com



〒463-0024 名古屋市守山区脇田町1703番地
TEL 052-768-1211 (代)

<http://www.asahi-intecc.co.jp/>



この印刷物は環境に配慮した
「大豆油インキ」を使用しています。